

おはりだのひろせのおほきみ
小治田広瀬王の霍公鳥の歌一首

一四六八番

ほととぎす 声こゑ聞きく小野をのの
秋風あきかぜに 萩咲はぎさきぬれ
や 声こゑのともしき

さみ ほととぎす
沙弥の霍公鳥の歌一首

一四六九番

あしひきの 山やまほととぎす 汝なが鳴なけば 家いへなる
妹いもし 常つねに偲しのはゆ

とりのせんりやう
刀理宣令の歌一首

一四七〇番

もののふの 磐瀬いはせの社もりの ほととぎす 今いまも鳴なか
ぬか 山やまの常陰とかげに